

おっぱいだよ

新潟市民病院母乳育児推進委員会
令和8年5月

新緑がまぶしい季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

令和8年4月より、RSウイルス感染症に対するワクチン「アブリスボ®」が定期接種の対象となりました。

妊婦さんが接種することで、生まれてくる赤ちゃんを感染症から守る新しい方法として注目されています。

今回は、「アブリスボ®」についてご紹介します。

RSウイルス感染症とは

赤ちゃんや小さなお子さんがかかりやすい風邪のウイルスの一つです。

2歳までにほぼすべてのお子さんが、少なくとも1度は感染するとされています。

多くは軽い症状で済みますが、赤ちゃん、特に生後6か月未満では重くなることもあり肺炎や細気管支炎で入院が必要になることもあります。



アブリスボ®とは

妊娠中のお母さんに接種するワクチンです。

お母さんの体の中で作られた免疫（抗体）が赤ちゃんに移ることで生まれてすぐの赤ちゃんを感染から守る働きが期待されています。

ワクチンの十分な効果が出るまでには、接種から少なくとも2週間はかかるとされています。

定期接種について

2026年4月から、定期接種として受けられるようになりました。

これまでよりも多くの方が接種しやすくなり、赤ちゃんの感染予防につながることを期待されています。

対象：妊娠28週0日～36週6日の方

接種回数：1回

費用：無料

※里帰り出産の場合は事前に手続きが必要となる場合があります。自治体にご確認ください。

当院でも妊婦さんへのRSウイルスワクチン接種が可能です

外来通院中の方は事前予約制となります。

ご希望の方やご不明な点がある方は、当院までお気軽にご相談ください。

